

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 事業提案書

【申請団体】

申請団体名	山形避難者母の会
(協議体の場合のみ) 代表団体名	
(申請団体の) 代表者の職・氏名	代表 中村 美紀
協議体構成団体①	
協議体構成団体②	
協議体構成団体③	
協議体構成団体④	

【団体情報】

団体ホームページ	http://yamagatahinanhaha.jimdo.com/
又は公開予定日	

※情報公開を行っておらず、かつ公開する見込みのない団体については応募できません。

1 事業名

避難者向け女性人材バンクネットワーク形成と講師養成講座の開設

2 事業の目的及び地域課題（200字以内）

原子力災害により主に福島県中通り地区から山形県山形市周辺に避難した自主避難者たちの多くは仕事のある父親を福島に残し母子のみで避難している。その多くは小さい子どもを抱えているが夫や親のサポートもなく、福島と山形とで二重生活をしているため経済的に苦しい。避難が長期化する中第二子や三子を出産した家庭もあり、小さい子がいても働ける環境が望まれている。

3 事業の必要性（200字以内）

山形県の避難者 4204 名のうち(平成 27 年 5 月現在)1384 名が山形市におり、その半数は母子避難などの家族の一部で避難している方である。平成 26 年度 10 月に山形県が実施した避難者アンケートによれば、避難生活で最も不安に感じているのが生活資金のことであり(63.7%)、現在無職で就職を望んでいる方の 51.0%がパートタイム就労を望んでいる。当団体の会員からも、「子どもが帰ってくるまでの時間の仕事を探してほしい」などの意見が多くある。

4 事業内容

【実施取組1】

母子避難者向け、リフレクソロジスト養成講座の実施

主な活動地域：山形市周辺

実施期間：H27/6月～H27/12月末

【取組内容】（100字以内）

小さな子どもを持つ避難者向けに、リフレクソロジスト(手ほぐし足ほぐし)の託児付養成講座を行い手に職をつけるサポートをする。講座は全3回×4名を予定、12名のリフレクソロジストを養成する。

【実施取組2】

避難者のための女性人材バンクネットワークの形成

主な活動地域：山形市周辺

実施期間：H27/6月～H27/12月末

【取組内容】（100字以内）

就労を希望している方に対して相談室を設置、どんな職種でどんな形態で働きたいか、どんな資格を持っているか等を聞き取り調査しそのニーズをまとめ、就職支援センター等につないでゆく。

※実施取組に合わせて、数を追加してください。

5 事業効果（各200字以内）

特に小さい子どもがいる自主避難・母子避難者に対して時間の融通のきく仕事に繋がる資格を取得してもらうことによって、経済的困窮状態からの自立を促すことにつながり、かつその他の避難者に対してどのように自立してゆけばよいかの一例を示すことになる。また、就労のための相談室を設置し避難者の就労ニーズを個別に把握することによって、より具体的にどうした支援が必要なのかを次年度に向けて考えることが可能となる。

【情報発信力】復興関連の取組（イベント等）を事業の主な目的としている場合のみ記載

6 実施団体の運営力強化（各200字以内）

【人材育成の観点】実施取組1の講座については、当団体のスタッフにも参加してもらい、次年度に向けてスタッフ自身が養成講座やイベント等を避難者向けに開催できるよう専門家にサポートしてもらう。

【ネットワーク形成の観点】 実施取組 1 について…帰還後には養成講座に参加した避難者の方に福島県内(主に県北～県中)でのイベントに参加できるよう、外部専門講師と連携しアフターフォローも含めた形で企画をつなげてゆく予定。

7 事業スケジュール（月ごと、箇条書き）

月	実施取組 1	実施取組 2
6 月	養成講座の告知	女性人材バンク準備室の設置・告知
7 月	第一回 養成講座開始	相談室開始(週 3 回)
8 月		//
9 月	第二回 養成講座	//
10 月	第三回 養成講座	// 福島事務局へ移行
11 月	講座卒業生のためのイベント	//
12 月	反省会	就労ニーズの集計・フィードバック
1 月		
2 月		
3 月		

※表が足りない場合は、適宜追加してください。

8 事業の実現性について（200字以内）

既に了解を得ている外部専門講師は震災後福島市で同様の養成講座を数回行った経験を持ち、放射線に対して不安を感じていた母親たちの就労と心の復興に大きく貢献した。現在も福島市において彼女たちが自発的に企画したイベントが度々あり、そこには帰還した元避難者も集まっており、元避難者の再開の場としても機能している。事業モデルはそこからヒントを得たものであり、十分に実現可能である。

9 事業終了後の展開・発展性（200字以内）

平成 28 年度以降については養成講座参加費を個人に負担してもらうほか、今回の取組を HP で紹介、またクラウドファンディング等を使って寄付を募り自主財源で継続できるようにする。また、相談室については福島事務局へ移行、メールや FAX 等で避難先とやり取りできるように形を整えていく。

10 事業の先進性・普及性（200字以内）

実施取組 1 については福島県内で放射線に不安を感じていた母親たちの心の復興と新しい就労の形を実現したという事業モデルが存在している。これと実施取組 2 をプラスし、避難者向けに事

業形成していくことが先進的であり、他地域への広がり期待できるのではと考えている。また福島帰還後の彼女たちの居場所を確保することにもつながり、避難者支援だけに留まらず帰還者支援とネットワーク形成を行う効果も大いに期待できる。

11 特記事項（アピールポイントなど）（200字以内）

本事業は母の会会員からの直接意見を事業化したもので、母子避難者の支援ニーズに沿ったものであり、コミュニティ形成・維持だけを目的としたイベント的な支援の形から、経済的自立を目的とした次の支援の形へとニーズが変化してきている。また本事業の専門講師である WHOLE TREAT ボディワーク研究所の手島渚氏は様々な著書を書いており、その実力は広く知られている。（最新著書は「足ほぐし手ほぐしセラピー」光村推古書院）

12 その他の助成金について

① 当該申請事業について、他の助成金も受けている。 答えが「はい」の場合のみ②へ	いいえ
② 他の助成金を受けているが、当該申請事業と明確に区別することができる。	はい/いいえ

※ 他の助成金を受けた事業と明確に区別することができない場合は応募できません。

第3号様式（第4条関係）

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 収支予算書

申請者名 山形避難者母の会

【支出の部】

(単位：千円)

区 分	平成 27 年度 予 算 額	明 細
人件費（共済費を含む）	828	相談室スタッフ人件費 5000×15日×6か月=450,000 スタッフ通勤費 4000×6か月=24,000 事務サポートスタッフ人件費 5000×10日×6か月=300,000 講座のためのサポートスタッフ人件費 3000×9日×2名=54,000
報償費	324	講師謝金 28,000×3日×3講座=252,000 託児のための保育士への謝金 4,000×2名×9日=72,000
旅費	249	講師旅費 21,000×3往復×3講座=189,000 講師宿泊費 10,000×2泊×3講座=60,000
需用費 a1+b1+c1	120	
消耗品費 a1	60	文具代（ファイル、コピー用紙、インク等）10,000×6か月=60,000
燃料費 b1	10	冬季の灯油代 10000
印刷製本費 c1	50	告知のためのチラシ印刷・デザイン費 50×1000枚=50,000
役務費 a2+b2+c2	102	
通信運搬費 a2	96	イベント告知のための郵送料 82×300=24,600 相談室電話・通信費 12,000×6か月=72,000
手数料 b2	6	振込手数料 1,000×6か月
保険料 c2	0	
使用料及び賃借料	1,224	相談室・講座開催場所のための賃借料 180,000×6か月=1,080,000 駐車料（周辺に月極しかないため） 8,000×3台×6か月=144,000
委託料	0	
A. 支出合計	2,847	千円未満切捨

【自己資金の部】※自己資金は支出合計の2割以上が必要です。

(単位：千円)

区 分	平成 27 年度 予 算 額	明 細
自己資金（負担者名）	1,200	
寄付金等	1,200	損保ジャパン日本興亜様より(提供役務換算計算書参照)、参加者一部負担金等
その他収入		
事業収入		
B. 自己資金合計	1,200	千円未満切捨

【補助金交付申請額】 1,647 千円 (A. 支出合計－B. 自己資金合計)

- 注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。
- 注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。
- 注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の用途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、用途の区分が分かる資料を添付すること。